

令和6年度学校評価			尽誠学園高等学校				
学 校 教 育 計 画							
教 育 方 針			校訓「愛・敬・誠」を実践し、知・徳・体のバランスのとれた全人教育を行う。 「世のため人のために生きる」「最善を尽くす」「清く正しく生きる」心の育成。				
前 年 度 の 成 果 と 課 題			本 年 度 の 重 点 目 標		本 年 度 の 具 体 的 目 標	全体評価	
・生徒の経験値を上げるため外部との連携を密にし、各種講演会やワークショップを実施して興味関心を抱かせる取り組みができた。 ・コロナ5類移行後速やかに学校行事を復活させ、生徒の思い出作りに寄与できた。 ・部活動では選手の個性を大切にし、県、四国、全国で好成績を挙げることができた。			1. 本校生としての誇りを持ち、自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。 2. 学ぶ目標を持ち、その実現に努める生徒を育成する。 3. 社会に貢献できる生徒を育成する。		①気持ちの良い挨拶ができる生徒を育てる。 ②善悪の判断が正しくできる生徒を育てる。 ③規則がきちんと守れる生徒を育てる。 ④今もっている力を伸ばす。(鍛錬) ⑤新しいものに目を向けさせる。(挑戦) ⑥保護者との連携を密接にする。	B	
評 価 項 目		本年度の主な活動目標		本年度の主な具体的方策		評価	次年度の改善策
教科 指導	国 語	国語を適切に表現する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばす	毎朝の読書の時間の充実と校内漢字テストの充実	B	毎朝の読書の時間の充実		
	地歴公民	獲得した知識を自らの意志決定に活用できる学びの実現	ICT機器を活用した積極的な学びを行う	B	生徒の興味を喚起できる教材の研究		
	数 学	数学的思考力を身につけ、日常生活に存在する課題を解決できるようになる	授業で学習した内容が日常にどう生かされているか、課題研究とともに学んでいく	B	教材研究と教員研修		
	理 科	基礎学力をつける	落ち着いて授業を受けられる環境作りと、基本的な計算の反復学習	B	生徒の希望に即したカリキュラムの見直し		
	保健体育	運動への関心を高め、身体活動に取り組ませる	興味を持たせられるような教材・用具の選定	A	体育的活動への積極的な取り組みを促す		
	芸 術	芸術についての表現力を養い、感性豊かな人間性の育成を目指す	個人・グループによる「表現」に重点を置いた授業を実施する	B	自由な表現と創造性を重視した授業を展開できるようにする		
	英 語	コミュニケーションを大切に4技能を伸ばす	目的や場面に応じた技能と表現、さらに主体性も評価する	B	ディスカッションや研究授業で教師のブラッシュアップ		
	家 庭	家庭及び地域の生活に関わる実践的な知識と技術を習得させる	学習内容をよく吟味し、生活に役立つ知識を教えていく	B	実践的な学びを通じて、主体的な学習意欲を引き出せるようにする		
	情 報	情報と情報技術を適切に活用でき、情報社会に主体的に参画する態度を養う	個別指導を徹底し、豊富な実習を通して情報活用能力を身につけさせる	B	個別指導をする時間をどう作っていくか検討する		
	商 業	商業分野から現代社会を考え、社会で活躍するための基礎力を養う	知識だけではなく、将来に活かせる技能を身につける	B	商業科最後の1年なので、就職、進学に生かせる技術指導をやりきる		
	看 護	自己成長とプロフェッショナルリズムの強調	准看護師試験全員合格及び進路に対する自己実現のサポート	B	課題解決までの筋道を説明・発信し、それを実践できるようになる		
	福 祉	福祉の意義を理解し、実践しようとする心と行動力を育てる	興味関心を高めさせ、実践することで自尊心を育てる	B	体験を通して学ぶ機会を増やす		
	未来クエスト	各専攻とも外部機関と連携した授業を展開し、資格検定にも挑戦させる	外部機関とのコラボ授業に取り組み、授業を活用し各種検定に合格する力を養う	B	3専攻で情報を共有し、協力できるところは協力し合う		
教 務		教える側と教わる側、双方のICT環境を整える	定期的に研修を実施し、スキルの向上を目指す	B	定期的に職員対象の研修と研究授業を実施する		
総 務		誠之会(PTA)活動の活性化と充実を図る	誠之会行事を円滑に行えるよう、事前連絡を丁寧に行う	B	保護者の参加を増やす取り組みをしていきたい		
総務(管理)		学校生活における安全確保と環境美化に努める	全校清掃、避難訓練等の重要性を認識させ、真剣かつ緊張感を持って取り組む	B	生徒だけではなく職員の意識も向上させる		
生徒指導		挨拶・掃除・服装頭髪・時間を守る(あそふじ運動)ことの徹底	教員がチームになり声掛けを継続していく	B	生徒・教師・保護者の三者で力を合わせ生徒の成長を促す		
進路指導(進学)		将来の目標に向かって実現できるための指導をする	外部講師を招いた進路講演会を学年に応じて実施したり、大学訪問を増やす	B	研修や訪問を増やし、意識改革に努める		
進路指導(就職)		就職に対する意識を高め、希望職種に就かせる	受験指導を徹底する	B	就職に対する意識づけを早めにおこなう		
教育研究		探究活動を中心に生徒が自発的に課題を設定して取り組む力を養う	外部との連携を図り様々な探究方法を知る機会を設ける	A	得た経験を効果的に活用できる力を養う		
人権・同和教育		学校生活の中でお互いの人権意識を高める	常に相手のことを思い発言したり行動する	A	現職教育を充実させ、さらに人権意識を高める		
保健体育		健康に留意し学校生活を送る	基本的な生活習慣を身につける	B	自己の健康について考える力をつける		
教育相談		充実した高校生活になるためのサポートを行う	しっかりと傾聴することで、生徒の思いに寄り添う教員を目指す	B	情報共有を円滑に行う		
特別活動		高校生活を送る中で、人間関係をよりよく形成する生徒を育てる	学校行事の中で、人間関係をよりよく形成する様に啓発する	B	ICT機器を利用して活動計画の情報共有をする		
厚 生		集団生活におけるマナー・モラルの獲得	自分の行動が集団にどう影響するか常に考える	A	寮内清掃のさらなる徹底を促す		
1 年 団		当たり前のことが当たり前にできる ～凡事徹底～	目標を持ち、目標を定めよう	A	困難に立ち向かえる力をつけさせる		
2 年 団		「相手を幸せにすること」を考えられる人になる	自分自身を好きになり、素直に生きる	A	自分の行いが誰かの喜びに繋がることを実感させる		
3 年 団		笑顔で卒業する	生徒の成長と目標達成を支援する	A	さらに多くの生徒の幸せをサポートする		
衛生看護科		自己成長とプロフェッショナルリズムの強調	准看護師試験全員合格及び進路に対する自己実現のサポート	B	校外・校内の実習の充実を図り課題に対する学びを深める		
特進・進学コース		情報取集に努め、一人ひとりに適した指導で第一志望合格を勝ち取る	情報を担任に共有することで、早い段階から準備を進める	B	早い時期から意識を高め、変わりゆく入試の情報をいち早く得る		
アスリートコース		文武両道	学校生活に全力で取り組む	B	体験型実習を増やし様々な競技を体験させる		
アビリティコース		外部機関とのコラボ授業を通じて礼儀や人間性を養う	外部機関の講師とふれ合い問題解決学習に取り組むことで、礼儀や人間性を養う	B	外部機関に関わる際の言動について、指導を徹底していく		